

## ○司書専門試験問題例

第1問 次のA～Jの書名から、その分類を日本十進分類法（NDC）第9版に基づき類・綱の2桁の数字であらわしなさい。

※ 例 「日本の歴史」

2	1
---	---

- A 「猫と幸せに暮らす本」
- B 「これならわかるオーストラリア・ニュージーランドの歴史 Q&A」
- C 「ル・コルビュジエの浮かぶ建築」
- D 「クラシックの核心 - バッハからグールドまで -」
- E 「ブッダのことば :改訳 -スッタニパータ-」
- F 「古代エジプト文字ヒエログリフであそぼう」
- G 「日本のすがた -表とグラフでみる社会科資料集-」
- H 「中小都市における公共図書館の運営」
- I 「面白すぎる天才科学者たち」
- J 「ロビンソン・クルーソー」(岩波文庫)

第2問 次の文章中の(A)～(F)にあてはまる語句を、語句群の①～⑥の中からそれぞれ選び、番号を記入して答えなさい。なお、( )に同じアルファベットが記載されている場合は、同じ語句が該当する。

- (1) 図書館の資料収集方法には、購入、寄贈、交換、寄託などのほか、法律により国立国会図書館へ出版物などの納入を義務付ける( A )に基づくものもある。
- (2) 無線通信により、非接触でICチップの中のデータを読み書きする技術を( B )という。図書館では資料にICタグを貼付し、資料の貸出・返却や蔵書点検、不正帯出防止などに用いられている。
- (3) 著作権者の所在や身元が不明であるため、第三者がその著作物を利用することができない、または利用することが困難な著作物を( C )という。世界的にその権利処理が大きな問題となっており、日本では、文化庁長官の裁定を受け、利用することができる制度が設けられている。
- (4) ( D )は、統一標目の形と読み、よりどころとした参考資料名、採用しなかった名称からの参照等を記録したもので、統一標目を維持管理するために作成される。著者名( D )、件名( D )等がある。

- (5) 自宅の庭に小さな木製の図書箱を設置し、地元の人たちへの本の貸出から始まった( E )は、日本でも個人で始められる気軽さから、オフィスやカフェなどにも急速に広がりつつある。2013年より「( E )サミット」も開催されている。
- (6) インターネット上で誰もが講義を受講できる仕組みで公開された大規模なオンライン講座( F )は、2001年マサチューセッツ工科大学が講義動画をインターネット上に掲載したことから広まり、日本では、「gacco(ガッコ)」「manavee(マナビー)」が有名で、相互作用を活用した学習法の導入も期待されている。

【語句群】

- |              |        |                 |            |       |
|--------------|--------|-----------------|------------|-------|
| ①マイクロ・ライブラリー | ②JAIRO | ③ブックディテクションシステム |            |       |
| ④統一タイトル      | ⑤献本制度  | ⑥RFID           | ⑦パブリックドメイン | ⑧MOOC |
| ⑨オーファンワークス   | ⑩納本制度  | ⑪ラーニング・コモンズ     | ⑫典拠ファイル    |       |

第3問 次の(1)～(5)の語句について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- (1) メタデータ
- (2) WARP
- (3) リカレント教育
- (4) 公立図書館の広域利用
- (5) 子ども読書活動推進計画

第4問 ディスカバリーサービスについて、次の問いに答えなさい。

- (1) その特徴を従来型のOPACと比較して説明しなさい。
- (2) ディスカバリーサービスが登場した時代的背景について論じなさい。

第5問 公立図書館が実施している運営に関する評価について、次の問いに答えなさい。

- (1) 根拠となる法令について説明しなさい。
- (2) その評価方法や現状について、知るところを述べなさい。